

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会 令和2年度第1回太陽光分科会

～長期安定電源として太陽光発電を運営していくために～

これからの再生可能エネルギーの「主力電源化」を支える役割が期待される太陽光発電は、不適切な設計・施工、維持管理等による発電電力量の低下や電気事故等により安全性が損なわれている例があります。また、持続的な発電事業を継続していくためには、太陽光発電事業の価値を向上させる必要があります。そのために重要になってくるのが、太陽光発電設備のO&M（Operation and Maintenance：運用と保守）技術です。

令和2年度第1回太陽光分科会では、産総研 FREA に新たに設置された上述のO&M技術を扱う研究チーム「太陽光システムチーム」の取り組みについて紹介します。県内関連企業の皆様をはじめ、太陽光ビジネスに携わる皆様の参加をお待ちしています。

参加費無料

会場定員 17 名

Web 定員 100 名

(先着順、定員になり次第受付終了)

日時 令和2年9月16日(水) 14:00～16:00
場所 (国研)産業技術総合研究所福島再生可能エネルギー研究所 1階 FREA ホール
(Web 開催併用)

次 第

1 あいさつ

福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会 太陽光分科会長 大関 崇

2 FREA 太陽光システム(新設)研究チームの紹介

(1)「太陽光システムチーム研究概要」

大関 崇 研究チーム長

令和2年4月より FREA に新設された太陽光システムチームの研究紹介を行います。太陽光発電の長期安定電源化を実現するために、太陽光発電設備の安全性に関する設計技術、運用技術に関する研究開発や基盤整備、また、太陽光発電の大量導入時におけるスムーズな電力系統への統合のために、需給運用のための発電予測技術の研究開発を進めています。

(2)「PV システムの長期信頼性と安全性に関する研究取組」

加藤 和彦 主任研究員

太陽光発電設備の構造安全・電気安全に係るリスクを社会的・技術的に概観するとともに、太陽光発電設備の安全性向上に関する研究を紹介します。

(3)「PV システムの発電予測技術に関する研究の取組」

大竹 秀明 主任研究員

太陽光発電を含めたエネルギーマネジメントにおいて、発電出力の予測技術が注目されているなか、気象予報技術やそれを用いた発電予測の手法、予測誤差の課題について解説します。

3 質疑応答・意見交換



新型コロナウイルス感染拡大防止のため会場参加人数を制限させていただきます、Web 参加を受け付けます。

※Web 会議は Microsoft Teams を使用します。会議の参加方法は改めて参加者にお知らせいたします。

※会場参加希望が定員を超えた場合は、Web 参加にさせていただきます。

◆ お申込み・お問い合わせ ◆

〒963-0215 福島県郡山市待池台1丁目12番地(福島県ハイテクプラザ内)

公益財団法人 福島県産業振興センター エネルギー・エージェンシーふくしま

電話：024-963-0121 FAX:024-963-0122 e-mail: e.a.fukushima@f-open.or.jp

